

山形大学農学部 農学紹介講座

農学の夕べ

現代の農学の対象は食育、有機農業、バイオテクノロジー、環境問題など非常に幅広くなっています。そんな農学を広く皆さんに知っていただきたいと考え、企画しました☆

事前申込は不要です。興味のあるテーマがあったら、一度でもいいので、気軽にお越しください☆

場 所 山形大学農学部 3号館3階 302講義室

開講日により、講義室が変更されることもあります。

開 講 隔週木曜日 18:00~19:30

期 間 2012年10月4日から 2013年1月24日まで

受講料 無料

問い合わせ先

山形大学農学部 企画広報室

〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23

TEL:0235-28-2803

FAX:0235-28-2812

Mail:noukich-s@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

URL:http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/

開講日	講義テーマと概要	担当教員
第1回 10月4日	<p>「植物工場の現状と課題」</p> <p>近年21世紀型農業として「植物工場」の実用化が急激に進んでいます。「植物工場」には自然光を用いるものから、LEDなどの人工光源を用いて、ほぼ全ての栽培行程を自動化したものまで様々なタイプが考えられています。今回の講義では植物工場の歴史と現状、今後の課題などについて、分かり易く講義します。</p>	西澤 隆 (安全農産物生産学コース)
第2回 10月18日	<p>「日本の森林、世界の森林」</p> <p>世界には地域の気候に応じて寒帯林から熱帯林まで様々ありますが、山形の自然豊かな森林をとおして世界の森林を見つめなおしてみましょう。</p>	野堀 嘉裕 (森林科学コース)
第3回 11月1日	<p>「ダダチャマメの科学」</p> <p>鶴岡特産のダダチャマメとはどのようなエダマメなのか？生育や収量に関する特性、成分特性および健康機能性等について概括します。</p>	阿部 利徳 (植物機能開発学コース)
第4回 11月15日 202講義室	<p>「農学部で行われている『生命科学』研究」</p> <p>「農学部」というと農業とか林業とかを教育・研究するところ、というイメージを持つ人が多いと思います。でも、「ええ！農学部でこんな『生命科学』の研究？」と思われるような研究もやっているのです。そんな生命科学の一端を紹介します。</p>	佐藤 英世 (食品・応用生命科学コース)
第5回 11月29日	<p>「海岸林の生態系サービスと震災後の再生に向けて」</p> <p>東日本大震災では大津波によって海岸林が甚大な被害を受けました。それと同時に海岸林が津波による被害を軽減する効果も認められました。ここでは、海岸林がもつ様々な機能と被災した海岸林の実態を紹介した上で、今後どのように海岸林を再生したらよいかを考えてみたいと思います。</p>	林田 光祐 (森林科学コース)
第6回 12月13日	<p>「観客アンケートからみた鶴岡まちなかキネマ」</p> <p>開業から2周年を迎えた鶴岡まちなかキネマについて、1年半前の卒論データと、農学部学生および観客に対して新たに実施したアンケート調査の比較を通して、その変化と課題を展望します。</p>	岩鼻 通明 (食農環境マネジメントコース)
第7回 1月10日	<p>「私たちの身近な水質問題」</p> <p>炊事や洗濯などの家事、水田や畑での農作業。私たちは、毎日の生活に実に多くの水を使い、そしてその水を汚しています。この講義では、私たちの身近で起こっている（起こるかもしれない）水質問題について紹介します。水道の蛇口をひねるといつもきれいな水が出てくる。それが当たり前でないことを理解してもらえたらと思います。</p>	渡部 徹 (水士環境科学コース)
第8回 1月24日	<p>「水稻とダイズの気象災害について」</p> <p>地球温暖化による気象災害の発生頻度が高まっています。庄内地域の主要な作物である水稻とダイズの気象災害の実態から地球温暖化と一緒に考えてみましょう。</p>	藤井 弘志 (安全農産物生産学コース)